

職業リハ学会通信

NO.159 2019年 9月発行

学会大会

日本職業リハビリテーション学会
第47回(大阪)
2019年8月23日(金)～24日(土)立
命館大学にて開催される
ご協力ありがとうございました

第47回日本職業リハビリテーション学会大阪大会を終えて

近畿ブロック理事 池田 浩之



大阪大会、大盛況で終わりました！

2019年8月23日(金)・24日(土)に立命館大学いばらきキャンパスにて、日本職業リハビリテーション学会第47回大阪大会が開催されました。大会初日はあいにくの雨からのスタートでしたが、多くの方にご参加いただきました。2日間通じて、計401名(会員165名、非会員236名)

の方にご参加いただき、大会テーマである「人を活かす企業文化（はたらきかた）の在り方を考える～これからの定着支援の連携を創り出す」にふさわしいたくさんの発表と討論がなされました。

ここで改めまして、大会運営にご尽力いただいた実行委員の皆様、大会スタッフの皆様、学会員の諸先生方に御礼申し上げます。

また合わせまして運営の不適際により、会場移動にご不便を感じられた方々に関しまして、改めてお詫び申し上げます。次年度大会事務局の方々へしっかりと引継ぎ、再発のないように努めてまいります。

本報告では、大会側の企画を中心に、当日の様子等をお伝えしていこうと思います。

たくさんの企画・発表がなされました！

本大会では、多くの企画が皆様をお迎えしました。基調講演・特別講演をはじめ、大会企画シンポジウムや、計7本の大会企画ワークショップ、計6本の自主ワークショップ、計35本の口頭発表、計14本のポスター発表がなされ、本大会を盛り上げました。

また学会の方向性に沿う形で、海外からの発表者2名をお迎えでき、来年度以降の大会に国際色のある流れをつくることができました。国際委員会主催のワークショップ「国際的な視座で、わが国の職リハの潮流を読む」も盛況のうちに終えております。こちらの報告はまた別途国際委員会の記事をご覧ください。

以下、各プログラム内容の報告になります。

大会1日目：

【基調講演・基調シンポジウム】

事前予約だけで200名を超える申し込みがありましたが、当日参加の方々にも多くの方にご参加いただき、300名を超えておりました。

大会長のくすの木クリニック院長の田川、有限会社奥進システム代表取締役の奥脇様からご発表いただき、大会テーマにふさわしい内容が議論されました。

後半からシンポジウム形式になり、前半のお二人に加え、法政大学の眞保教授、コーディネーターにNPO 法人大阪精神障害者就労支援ネットワークの金塚統括施設長も加わり、活発なやり取りがフロアでなされておりました。

【大会主催ワークショップ①：障害者の雇用・就労支援の強化】

本ワークショップは、大阪府の企画で開催されました。大阪府福祉部障がい福祉室自立支援課、商工労働部雇用推進室就業促進課、教育庁教育振興室支援教育課の方々からそれぞれ雇用・就労支援の強化のための施策、事業展開について話題提供がなされ、後半はそれに基づいた実践報告を行うという流れで発表されました。

30名ほどの参加者がこられ、特に他府県の方々から大阪府の取り組みに対して質問がなされておられました。大阪府庁内での連携した取り組み・実践が注目をされていました。

【大会主催ワークショップ②：障害者雇用推進による経営効果】

本ワークショップは、日本職業リハビリテーション学会の近畿ブロック理事の企画で開催されました。特に中小企業の取り組みを中心に、障害者雇用を行うことで企業にどのような影響・効果があるのか、「経営的な効果」を中心に3社の代表取締役にご登壇いただいて実践報告をしていただきました。約50名ほどの参加者がこられました。フロアからは雇用のノウハウについてなど質問が出ておりました。障害のある方々を特別扱いせず、企業雰囲気になんと溶け込んでいることが話され、企業の経営として必要な判断で障害者雇用がなされていることという回答が印象的でした。今後より多くの方にこの実態を聞いていただきたいということを登壇者やフロアの方々と共有し、終えました。

【大会主催ワークショップ④：持続可能な職業リハビリテーションにおける精神保健福祉士の可能

性～】

本ワークショップは一般社団法人大阪精神保健福祉士協会の方々で企画・発表をしていただきました。会場も立ち見の方が出してしまうほど盛況で約45人の参加者にご参加いただいております。指定発言の阪急阪神ホールディングス株式会社人事部の朝井様から障害者雇用に関する企業の困りごとについて整理された発言がなされ、それを踏まえて企業の中にソーシャルワーカーを入れることの意義について、登壇者の方々と深めることができました。ワークショップ終了後も参加者と登壇者や登壇者同士で意見交換がなされる様子がたくさん見られました。

【大会主催ワークショップ⑤：精神障害者の職場定着をテーマとした企業担当者による実践報告】

本ワークショップは、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の大阪障害者職業センターの方々により企画がなされました。企業の方の実践報告を中心に、職場定着について討論がなされておりました。フロアも約50名の方が参加されておりました。フロアからは企業の方へ質問がなされ、支援機関側に求めることは何かということや雇用に際して苦労されていることなどを聞かれておられました。特に支援に関しては「タイムリーな情報共有」というキーワードが出ておりました。終わってからも登壇者と参加者とで意見交換がなされておりました。

大会2日目：

【特別講演：現場で使える認知行動療法】

本講演は、認知行動療法研修開発センターの大野先生をお招きし、職業リハビリテーション領域の現場で使える認知行動療法というテーマで講演をしていただきました。事前予約から希望される方が殺到していましたが、当日も合わせて200名近い方々が聴講されておられました。先生からは認知行動療法の理論的な枠組みから、実践的なフロチャートの紹介など具体的にどのようなことを心がけていけばよいのかレクチャーしていただきました。

【大会企画シンポジウム：職業リハビリテーションを取り巻く認知行動療法の実践】

本シンポジウムは、職業リハビリテーション領域のニーズの高まりに応じて現場での実践例が増えている認知行動療法について、それぞれの現場で活躍されている先生方をお招きし、実践報告をしていただきました。午前中の大野先生の基礎的な講座を踏まえて、より実践的な報告をしていただきました。150名に近い方々に参加していただき、熱心に聴講していただきました。認知行動療法という支援技術を職リハ領域の現場に今後どう落とし込んでいくのかという議論が後半なされておりました。

【大会企画ワークショップ③：地域コミュニティー・ベースによる「地域企画」の創出】

本企画は大阪府障がい者就業・生活支援センター連絡会の方々で企画運営をしていただきました。当日は35名ほどの方々が参加されておりました。現場を持たれている支援者の方々ばかりで、講座形式の形態ではなくテーブルセッションが中心だったこともあり、たくさん話すことができ良かったと満足感を得られた方が多かったようでした。それぞれ困りごとの解消を目的としてネットワーク形成を考えておられ、参加者の数だけ意見があったのが印象的でした。

【大会企画ワークショップ⑥：企業現場の定着支援】

本企画はNPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワークが行いました。企業現場の定着支援ツールとして活用されているSPISの活用法についてを副題として掲げ、実践されている方々から報告をしていただき、討論を行っておりました。会場には60名ほどの参加者がこられ、熱心に聞いておられました。企業の方がSPISを通じて定着支援に携わるようになり、企業担当者の意識が変化していくことが実感として語られ、フロアと共有しておりました。

【大会企画ワークショップ⑦：離島における就労支援】

本企画はNPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワークが協力している活動について、沖縄の

社会福祉法人名護学院の金城様に企画いただいて、発表していただきました。参加者もフロアいっぱいに来ており、40名ほどの参加者がおられました。発表は当事者と支援者のペアでなされました。発表を終えた後の後日談として、登壇された伊是名島に永住されている方から「自分は周囲の方々からたくさん愛されているんだなと感じました」と話をされていたというエピソードもお聞きしました。

大会を終えて

本大会を盛況のうちに終えて、事務局側もほっといたしております。大会テーマを開催史上見られなかった「企業」というワードを入れ、職場に定着をしていく上での企業環境との相互作用を明らかにしていこうとする目的で開催した本大会は、有益な情報・データがたくさん提供され、多くの方々と共有することができました。大会実行委員・大会事務局側の思いをしっかりと形にできた学会であったと実感しております。

関西色の強い支援の試みを多くの企画として提供できたことも良かったと思っております。多様性が謳われているこのご時世ではございますが、支援をする側も思いや背景、経験値や専門性も多様であり、支援する目的が明確にされ、共有された後の支援側のアプローチも当然多様であって良いと考えております。そういう思いが具現化された大会に対して、参加された方々からたくさんあたたかいお言葉をいただき、運営側一同心より嬉しく思いました。

次年度は2020年東京オリンピックの年ですね。本大会を閉会し、この報告を書き終えることも事務局としては名残惜しいですが、ぜひ次年度大会も本大会以上に盛大に開催されますことを願っております。会員の皆様におきましても、どうぞお体をご自愛くださいませ。来年度の大会でお会いできますことを楽しみにしております。(文責：池田浩之)

次回大会のご案内

日本職業リハビリテーション学会 第48回 愛知大会

日時：2020年8月28日(金)・29日(土)

会場：愛知県立大学にて行われます。

第47回学会大会報告	1P
2019年度会員総会報告	5P
委員会報告	16P
ブロック活動報告	19P
新入会員のお知らせ	20P
事務局からのお知らせ	20P